

演奏家からみた武満徹

揺れる鏡にうつるもの

著:原 壘



世界的な作曲家として、演奏会用の音楽から映画・放送用の音楽まで、様々なジャンルで傑出した作品を残した作曲家・武満徹(1930-1996)。

2026年の没後30年を機に刊行する、世界的に活躍する25名の演奏家へのインタビュー集。

武満作品の初演や録音を行った演奏家たちに、作曲家本人から伝えられたアドバイスなどをあらためて取材するとともに、氏の晩年や没後に活動を始めた演奏家にも作品との向き合い方や取り組み方を取材。これから武満作品に取り組む演奏家や聴衆へのメッセージも。

気鋭の研究者・原壘氏が、インタビュー・構成・執筆を手掛けた。武満徹の活動やその作品をめぐる12のコラムも読み応え充分。

本書のサブタイトル「揺れる鏡に映るもの」は、武満徹《揺れる鏡の夜明け》から取られている。

演奏家それぞれの武満徹像、そして武満作品の演奏に映し出される演奏家の個性や音楽観が、一人ひとりの言葉から立ち現れる。

25名の音楽家による証言

- ▶池辺晋一郎 | 作曲 ▶小川典子 | ピアノ
- ▶リチャード・ストルツマン | クラリネット
- ▶荘村清志 | ギター ▶福田進一 | ギター
- ▶木村茉莉 | ハープ ▶山口恭範 吉原すみれ | 打楽器
- ▶横井慎吾 | ヴァイオリン(元札幌交響楽団)
- ▶岡部申之 | テノール(元東京混声合唱団)
- ▶山田茂 | バリトン(元東京混声合唱団)
- ▶北村朋幹 | ピアノ ▶工藤重典 | フルート
- ▶宮田まゆみ | 笙 ▶レナード・スラットキン | 指揮
- ▶篠崎史子 | ハープ ▶佐藤紀雄 | ギター
- ▶甲斐史子 花田和加子 | ヴァイオリン・ヴィオラ
- ▶小泉浩 | フルート ▶鈴木大介 | ギター
- ▶石川セリ | ヴォーカル ▶ケント・ナガノ | 指揮
- ▶高橋アキ | ピアノ ▶山田和樹 | 指揮

判型： 四六判 ページ：288頁
予価 2,860 円 (本体 2600 円+税10%)
ISBN978-4-276- 22692-0

■著者プロフィール■

原 壘(ハラ ルイ)

1989年仙台市生まれ。京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了。博士(人間・環境学)。専門は音楽学、表象文化論。とりわけ20世紀以降の領域横断的な芸術実践に関心を持つ。現在、京都芸術大学等で非常勤講師。

著書に『武満徹のピアノ音楽』(アルテスパブリッシング、2022)、共著に『音の本を読もう：音と芸術をめぐるブックガイド』(ナカニシヤ出版、2024)、論文として「肉体とエレクトロニクスの邂逅——佐藤聡明《リタニア》における一九七〇年代初頭の実践との紐帯」『表象16』(2022)や「甲斐説宗の1970年前後の創作における「一性」と「心操」——《メゾソプラノとフルートのための音楽》第1曲をめぐる——」『音楽学』(2024)など多数。2021年より、現代における作曲の広がりや多様性を伝えるコレクティブ「スタイル&アイデア：作曲考」を運営し、作曲論の蒐集やインタビュー、演奏会の制作にも取り組んでいる。



のご注文も可能です。PC・スマホからいつでもご発注いただけますご利用ください。

(貴店名・帳合)

(注文)

新刊！

演奏家からみた武満徹

揺れる鏡にうつるもの

著:原 壘

四六判 288頁 ISBN978-4-276-22692-0

予価 2,860 円 (本体 2600 円+税10%)

冊